



70219-XNA -K1S0 S660 SIDE SPOILER & REAR AERO FENDER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

【適合車種】 S 6 6 0 D B A - J W 5

【色記号】	無限色	ホンダ色記号	色名
	WP	NH841P	プレミアムスターホワイト・パール
	AG	NH716M	アドミラルグレイ・メタリック
	NP	BG55P	プレミアムミスティックナイト・パール
	BC	B611P	プレミアムビーチブルー・パール
	YA	Y75	カーニバルイエロー-II
	FR	R513	フレイムレッド
	NB	B92P	ナイトホークブラック・パール
	FB	B630P	フレンチブルー・パール
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

※リア エアロ フェンダーは、ゲルコート仕上げです。

3. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

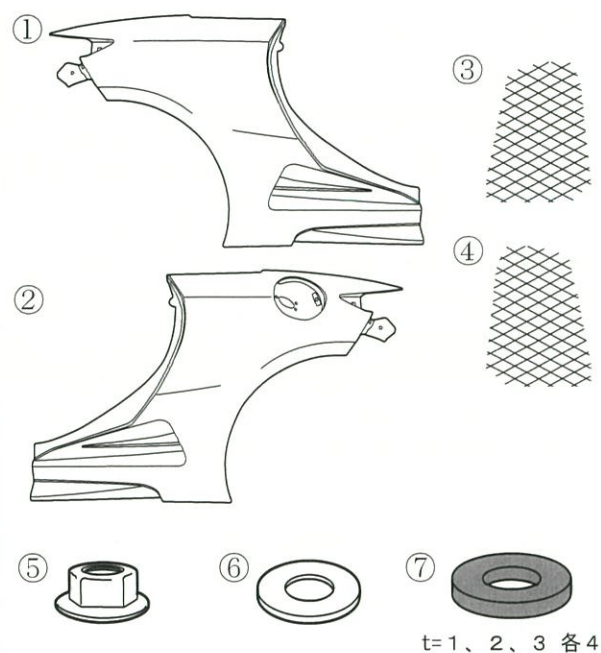
●製品使用上の注意

1. サイド スポイラー & リア エアロ フェンダーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. サイド スポイラー & リア エアロ フェンダーの取り付けによりサイド スポイラー取付部分の地上高が低くなり、段差等の通過の際サイド スポイラーを擦る恐れがありますので、十分注意して運転してください。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。サイド スポイラー & リア エアロ フェンダーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. ジャッキアップ及びリフトアップの際は、サイド スポイラーとのクリアランスを必ず確認してください。
5. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

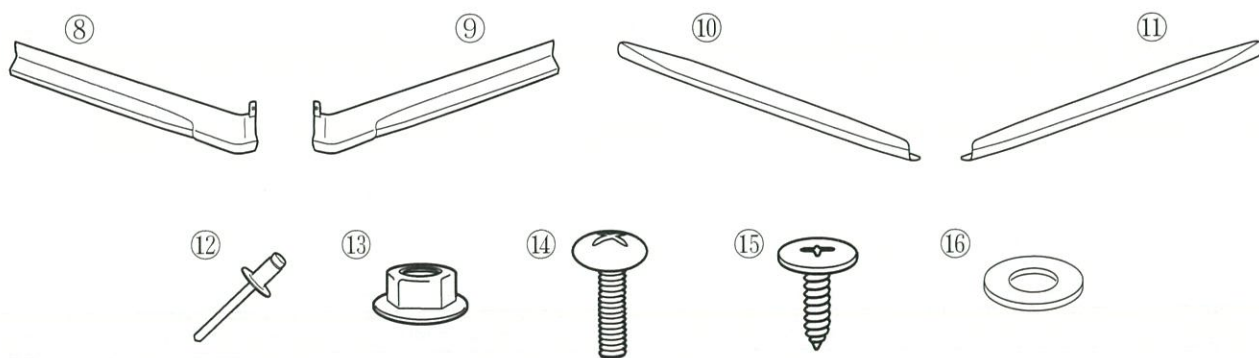
【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	リア エアロ フェンダー R	1
②	リア エアロ フェンダー L	1
③	ダクトメッシュ R	1
④	ダクトメッシュ L	1
⑤	フランジナット a	2
⑥	ワッシャー	8
⑦	クッション	1 2
⑧	サイド スポイラー R	1
⑨	サイド スポイラー L	1
⑩	アウター サイド スポイラー R	1
⑪	アウター サイド スポイラー L	1
⑫	リベット	1 0
⑬	フランジナット b	4
⑭	トラスボルト	4
⑮	タッピングスクリュー	2
⑯	樹脂ワッシャー	2

【リア エアロ フェンダー同梱内容】



【サイド スポイラー同梱内容】



【必要工具】

- ・ プラスドライバー ・ ソケットレンチ 8mm、10mm ・ クリップリムーバー
- ・ キリ ・ スパナ 10mm ・ リベッター ・ ニッパー ・ マスキングテープ
- ・ イソプロピルアルコール ・ ウェス

FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。

ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承下さい。

○塗装作業の注意事項

下記の点にご注意ください。

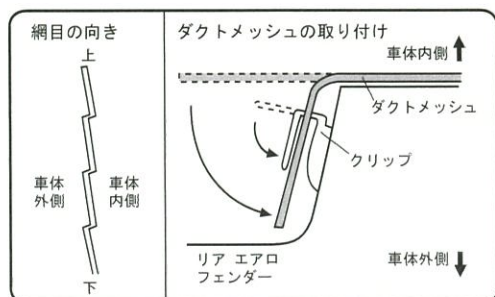
1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。
取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。
車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。
2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。
3. ゲルコート仕上げ状態のままでのご使用は出来ません。
製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承下さい。
4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。
FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

I. 塗装作業及びダクトメッシュの取付

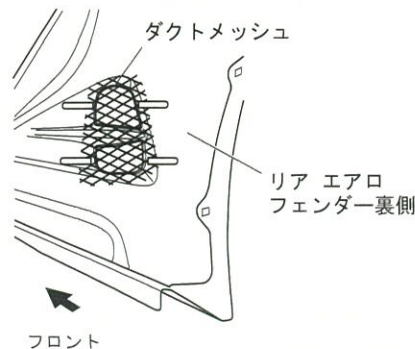
- 《注意》・ダクトメッシュの取り付けは、塗装作業後 車両装着前に行ってください。
- ・取り付けの際はダクトメッシュで手を切らないように必ず保護具を着用して作業してください。
 - ・ダクトメッシュの網目には向きがあります。下図の網目の向きになるように取り付けてください。

- ①リア エアロ フェンダーの表面を塗装する。
- ②リア エアロ フェンダー裏面のダクト部にダクトメッシュを被せる
- ③ダクトメッシュの網目の方向に注意し、クリップを折り曲げて固定する。



注意

ダクトメッシュ端部で怪我をしないよう、取り付け作業時は必ず防護手袋を着用してください。



- ④ダクトメッシュの取り付け状態が完全か確認する。

※反対側も同様

Ⅱ. リア エアロ フェンダーの取付準備

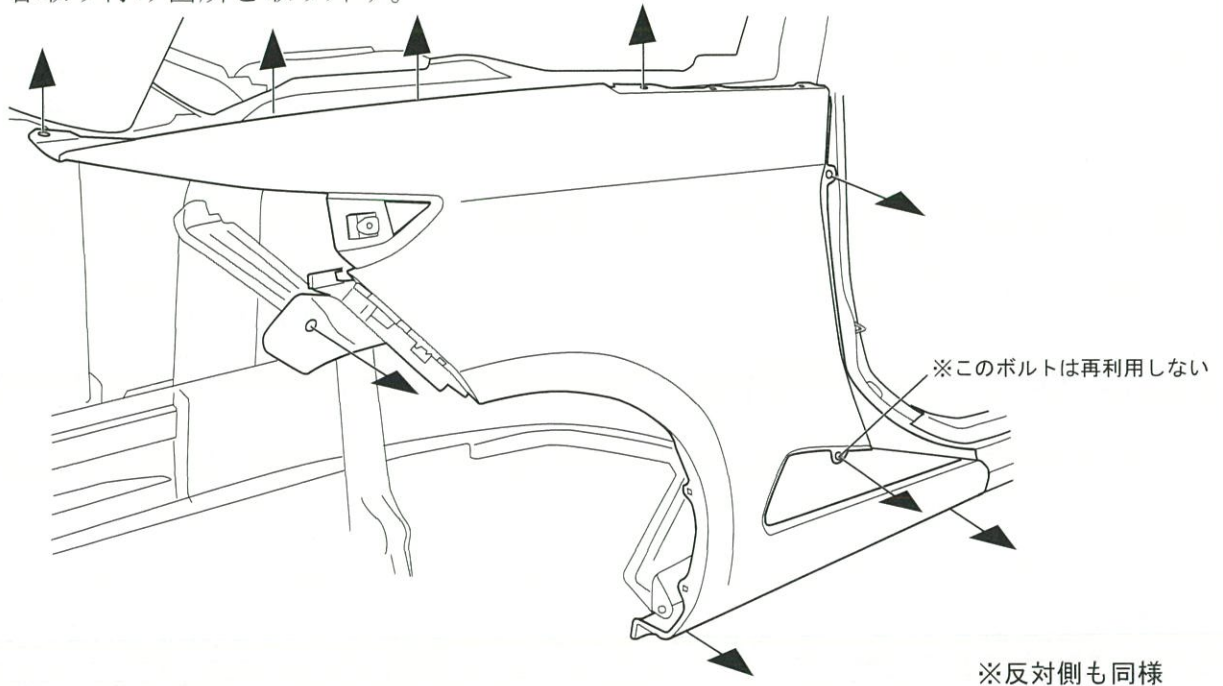
- 《注意》・リア エアロ フェンダーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様にを行うこと。

①車両からリア バンパー、左右リア コンビネーション ライト、リア パネル ライト、リア スポイラー ガーニッシュ、左右インナー フェンダー、左右エア インレットを取り外す。

(サービスマニュアル参照)

②左右のリア フェンダー パネルを取り付けているボルト (片側9ヶ所) を外し、左右のリア フェンダー パネルを取り外す。

※L側を取り外す際、フューエル フィラーパイプ、フューエルリッド ラッチ、フューエル フィラーキャップがリア フェンダーパネルならびにフューエルリッドに連結されている為、各取り付け箇所を取り外す。



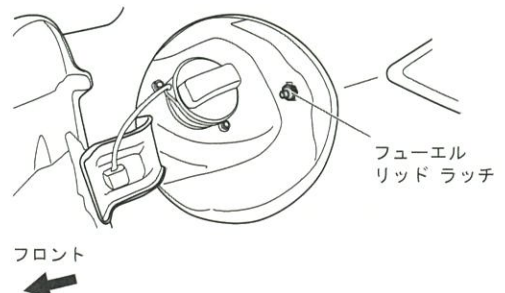
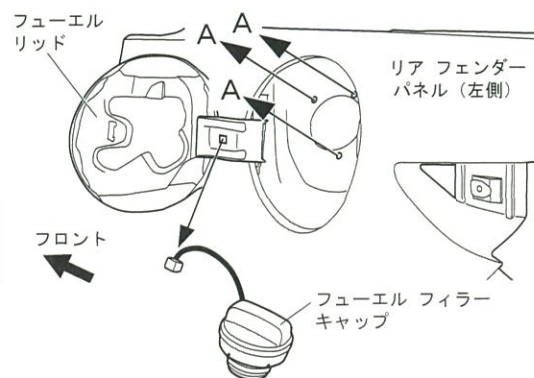
※L側は、フューエル フィラーキャップ、フューエルリッド ラッチおよびフューエルフィラーパイプの締結ナット (A) を取り外す。

取り外したナットは再利用する為、紛失や破損の注意すること。

A (3)



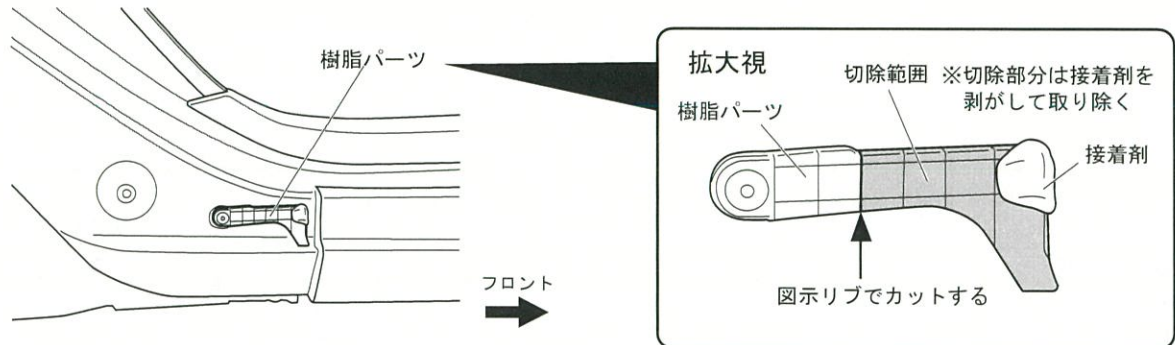
ナット
(再利用)



注意

リア フェンダー パネル L側を取り外した後、必ずフューエル フィラーパイプにフューエル フィラーキャップを取り付けて以降の作業を進めてください。

③車体側面（リア フェンダー パネル取付面下方前端）の下図で示す樹脂パーツを切除加工する。



※反対側も同様

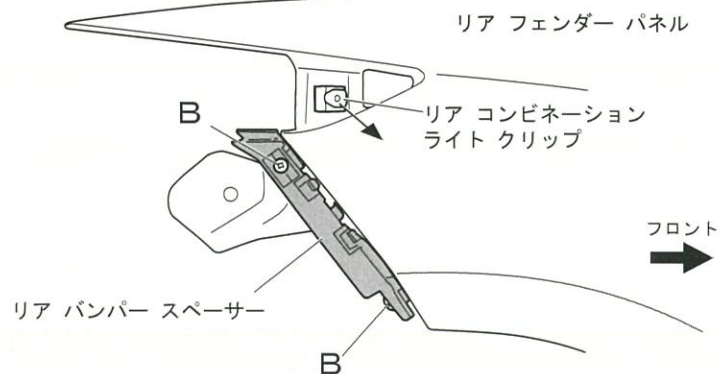
④リア フェンダー パネルからリア コンビネーション ライト クリップおよびタッピングスクリュー（B）を取り外し、リア バンパー スペーサーを取り外す。

※取り外したリア コンビネーション ライト クリップ、タッピングスクリュー、リア バンパー スペーサーは、リア エアロ フェンダー取り付けの際に再利用する為、紛失や破損に注意すること。

B (4)



タッピング
スクリュー
(再利用)



※反対側も同様

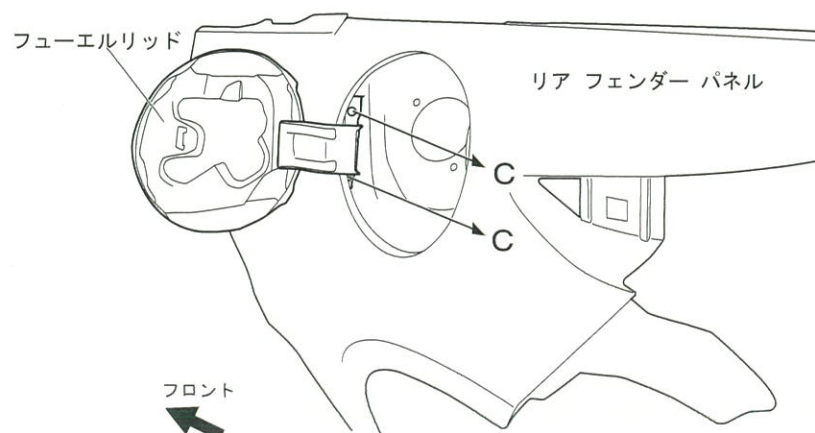
⑤リア フェンダー パネル L側からフューエルリッド ヒンジ ボルト（C）を取り外し、フューエルリッドを取り外す。

※取り外したフューエルリッドは、リア エアロ フェンダーに再利用する為、破損や傷付きに注意すること。

C (2)



ボルト
(再利用)

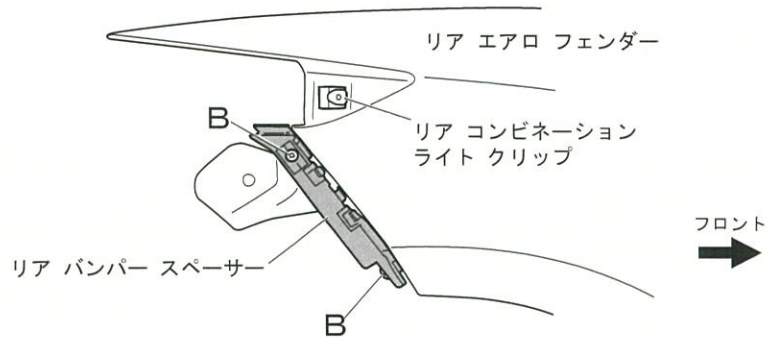


- ⑥リア エアロ フェンダーにリア コンビネーション ライト クリップおよびリア バンパー スペースをタッピングスクリュー (B) を再利用し取り付ける。

B (4)



タッピング
スクリュー
(再利用)



※反対側も同様

- ⑦リア エアロ フェンダー L 側にフューエルリッドをボルト (C)、フランジナット a (D) で仮止めする。

C (2)

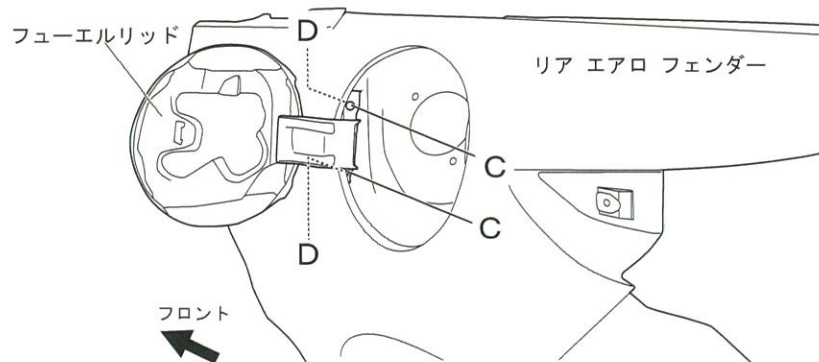
D (2)



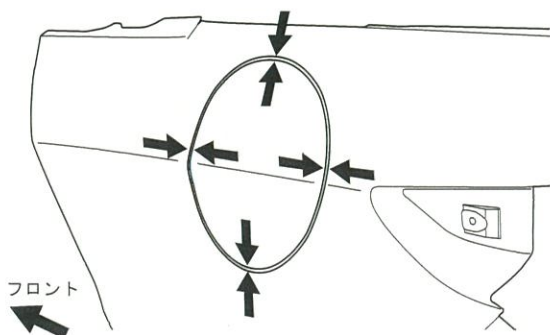
ボルト
(再利用)



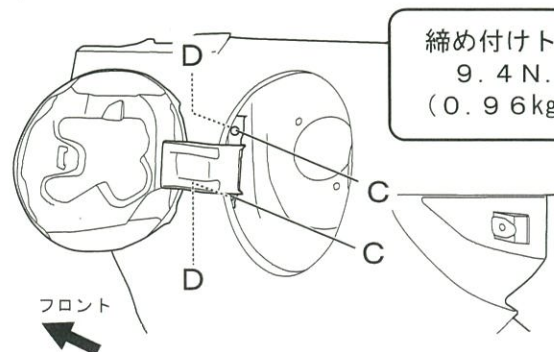
フランジナット a



- ⑧フューエルリッド表面とリア エアロ フェンダーのクリアランスおよび開閉時の干渉がない事を確認してボルト (C)、フランジナット a (D) を本締めする。



フューエルリッドを内側、外側および上下に動かし、フューエルリッドとリア エアロ フェンダーの隙間、段差を調整する。



ボルト (C)、フランジナット a (D) を本締めする。

締め付けトルク
9.4 N.m
(0.96 kgf.m)

Ⅲ. リア エアロ フェンダーの取付

《注意》・リア エアロ フェンダーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。

①リア エアロ フェンダーを車両に仮当てし、I-②で取り外した各ボルト（片側8ヶ所）を再利用して仮締めする。

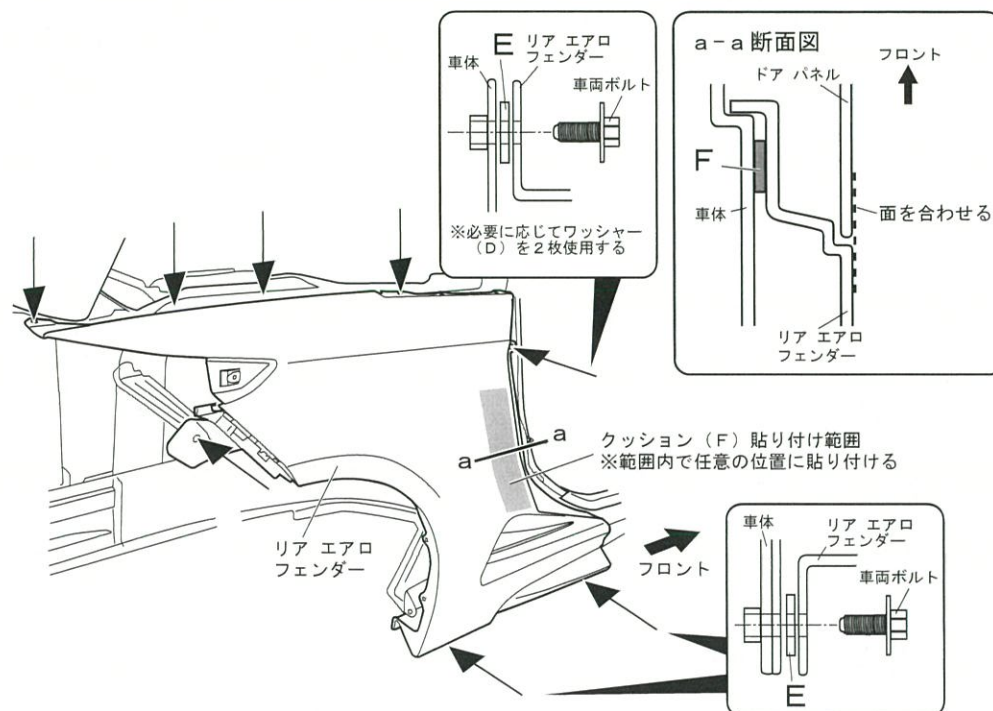
※リア エアロ フェンダーとフロント ドアの段差調整する際は、リア エアロ フェンダーの下図で示す車両ボルト取り付け部にワッシャー（E）を入れて調整する。また、リア エアロ フェンダー裏面の下図範囲をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄し、クッション（F）を貼り付け、枚数および厚みを変更して適切な段差に調整する。

E (8) F (12)



ワッシャー クッション

車両ボルト
締め付けトルク
9.8 N.m
(1.0 kgf.m)

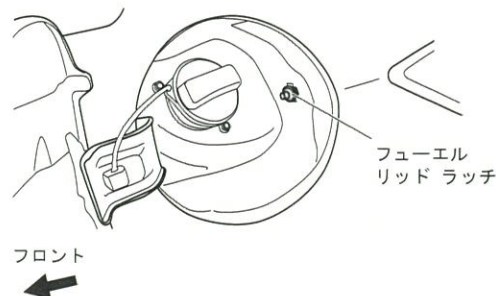
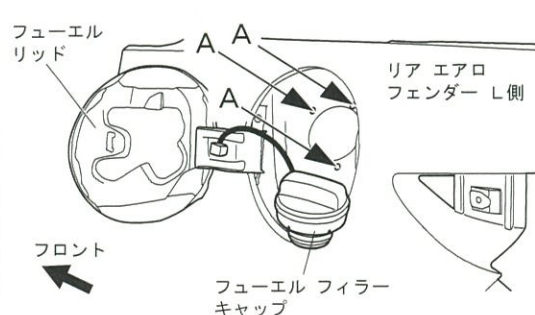


※L側は、フューエル フィラーキャップ、フューエルリッド ラッチ、フューエルフィラーパイプをナット（A）で取り付ける。

A (3)



ナット
(再利用)



②I-①で取り外したリア バンパー、左右リア コンビネーション ライト、リア パネル ライト、リア スポイラー ガーニッシュ、左右インナー フェンダー、左右エア インレットを取り付ける。（サービスマニュアル参照）

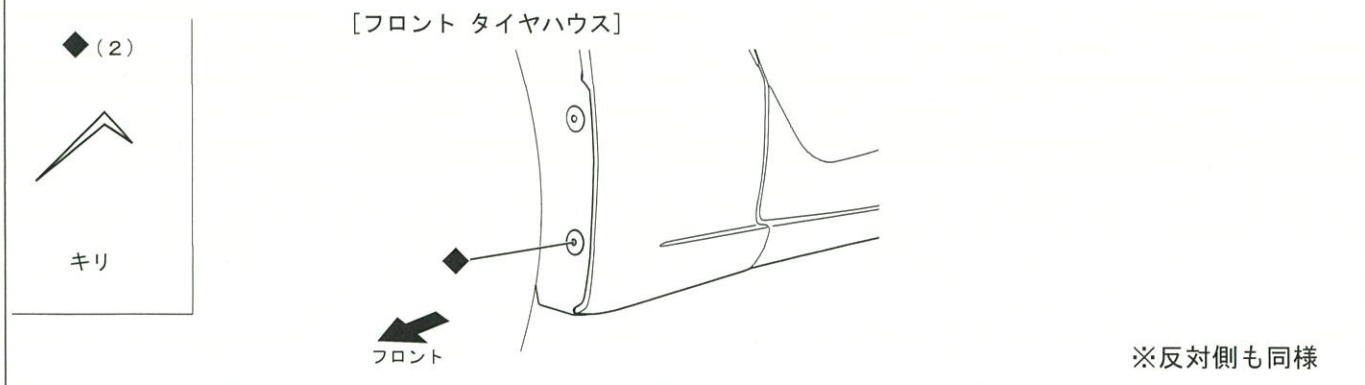
③取り付けクリアランスを調整しながら各ボルト類を本締めし、取付状態が完全か確認する。

Ⅳ. サイド スポイラーの取付準備

《注意》・サイド スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。

①車両前方タイヤハウス折返し部のクリップにキリで下穴をあける。

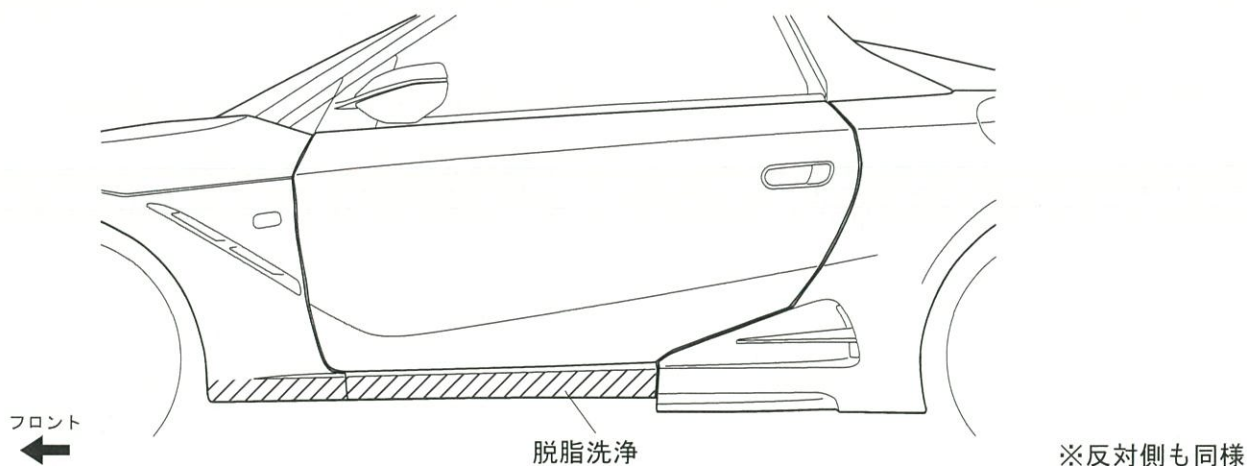


Ⅴ. サイド スポイラーの取付

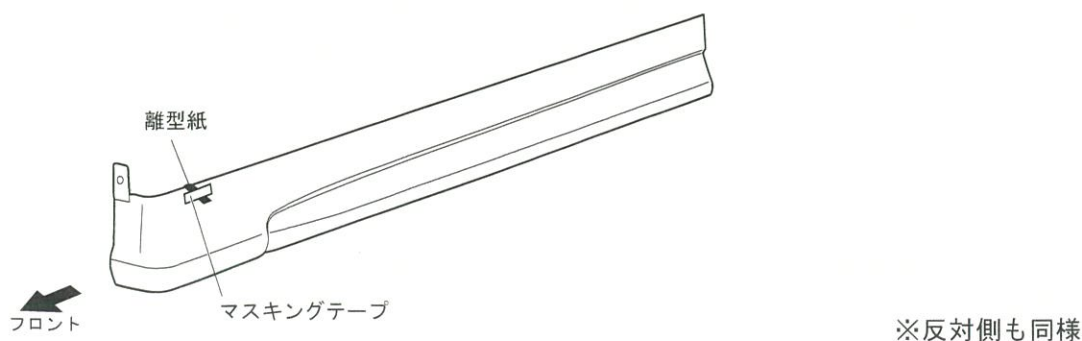
《注意》・サイド スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること

①車両の下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



②サイド スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、外側に折り曲げてマスキングテープで固定する。



③サイド スポイラーを車両に仮当てし、タイヤハウス折返し部をタッピングスクリュー（G）、下面をトラスボルト（H）、フランジナットb（I）で仮固定する。また、周長調整する際は、樹脂ワッシャー（J）を使用する。

G (2)

H (4)

I (4)

J (2)

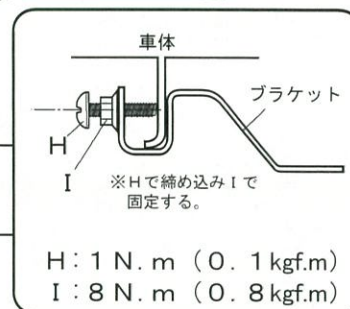
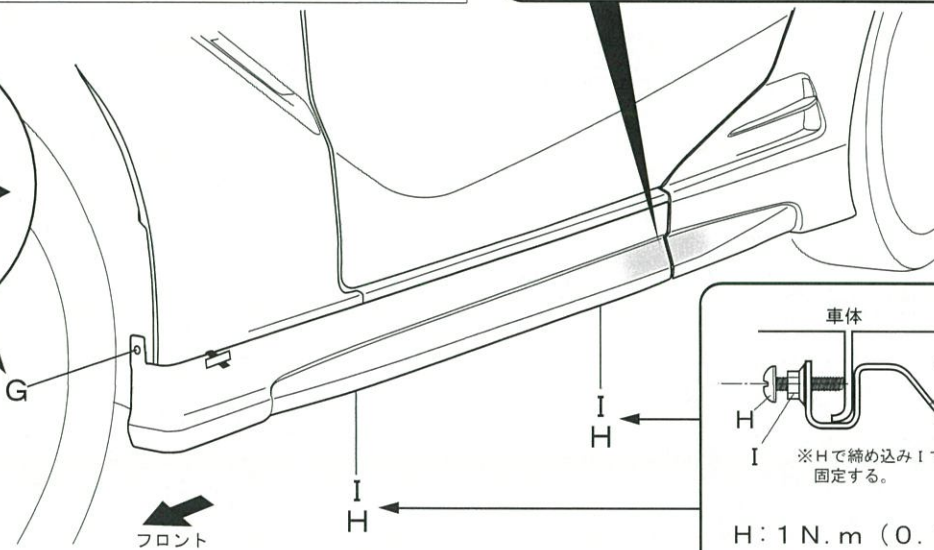
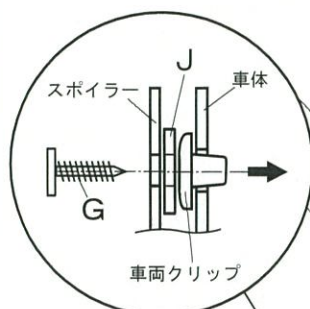
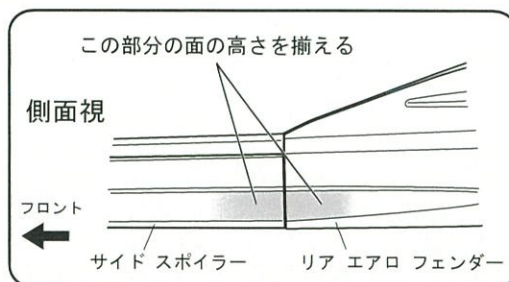


タッピング
スクリュー

トラスボルト

フランジナットb

樹脂ワッシャー

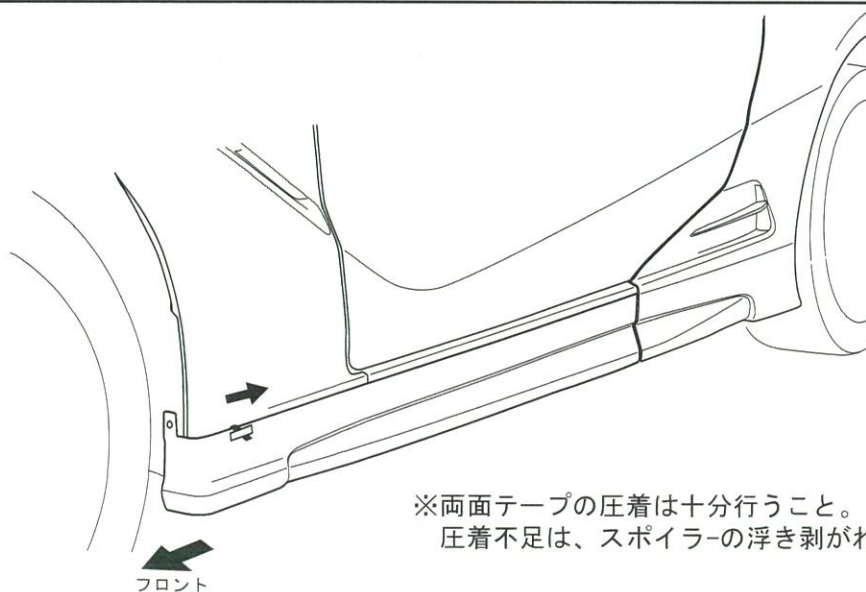


※反対側も同様

④下図の矢印の方向に両面テープの離型紙を引き抜くように剥がし圧着する。

注意

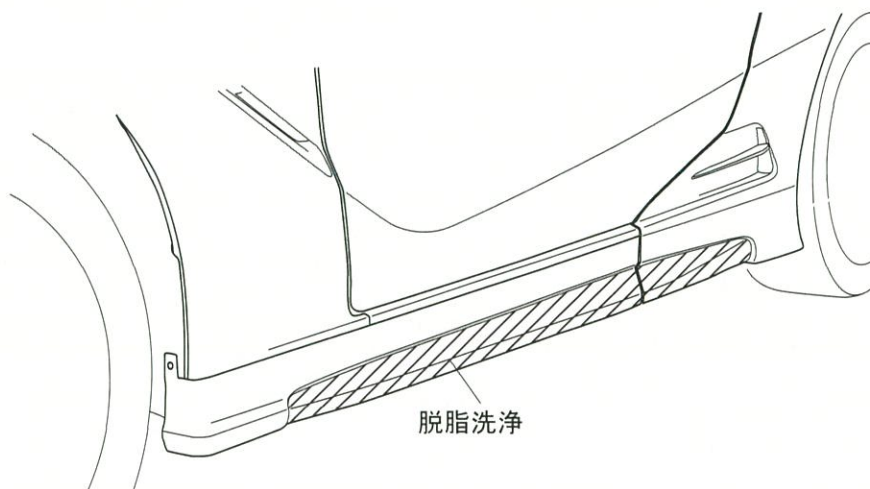
接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。



※両面テープの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

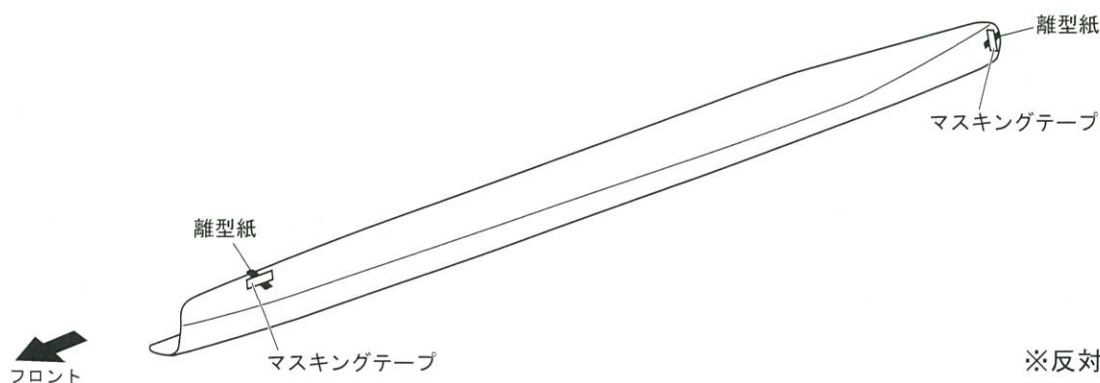
※反対側も同様

⑤車両の下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



※反対側も同様

⑥アウター サイド スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、外側に折り曲げてマスキングテープで固定する。



⑦アウター サイド スポイラーを車両に仮当てし、取り付け位置を確認しながら下面をリベット(K)で固定し、下図の順番に従い両面テープの離型紙を引き抜くように剥がし圧着する。

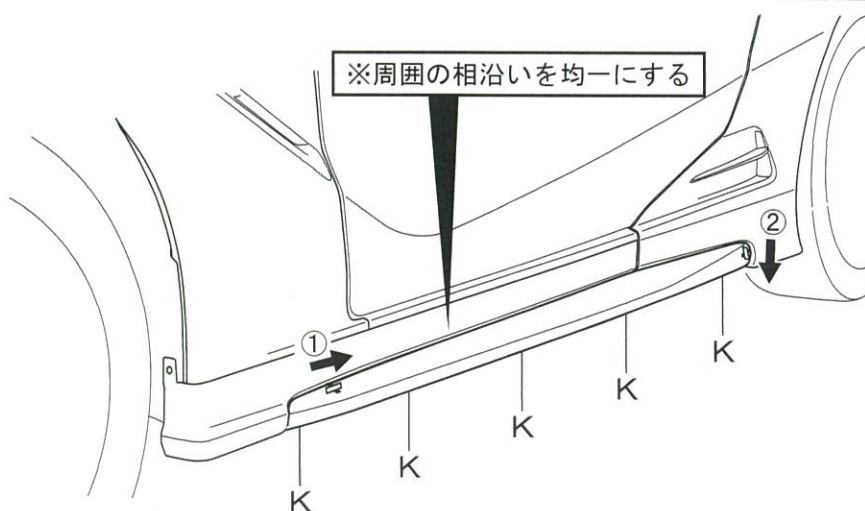
注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

K(10)



リベット



※両面テープの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

※反対側も同様

⑧各部のスクリュー、ボルト、ナットを本締めし、取付状態が完全か確認する。